



福島現状と課題について、菅野議員に学びました

4月の統一地方選挙を終え、例年よりも遅く第9回定期総会が開催されました。有賀日野市議の議事進行のもとで、昨年度の活動報告をけば杉並区議が、2019年度の活動方針を柳田事

## 菅野清一 川俣町議会議員 『避難解除後も帰還は高齢者ばかり』

務局長が提案しました。決算案の設立準備金（今年度で完済）についての質問があり、その後予算案と人事案とともに可決されました。

特別講演には菅野清一川俣町議をお招きし、避難解除後の被害自治体の現状についてお話をいただきました。夏の福島を忘れない全国シンポジウムに向かう時期でもあり、データに基づく貴重な内容でした。

今年は残念ながら他の行事が重なり、運営委員の中からも欠席がありました。そのためにも、毎月の運営委員会の開催や、内容の共有と充実が大切だと感じました。



長沢啓行氏のお話が具体的でも勉強になったとの多くの声

## 若狭ネット資料室 長沢啓行氏 『検査制度変更の大改悪』について講演

### ▼原発は長期間動かしていると脆くなる

原発は運転をすると原子炉内で中性子が発生する。中性子は、原子炉付近にある配管や圧力容器の金属にぶつかり、金属原子同士のつながりを壊していくので、粘りが無くなっていく。次第に脆くなる脆化（ぜいか）といわれ、40年を超えると、脆くなった原発を動かすことになり、極めて危険。

### ▼老朽原発の検査が事業者任せに

2020年4月から「原子力規制委員会が行う施設定期検査」は廃止され、電力会社が「定期事業者検査」を行う。規制委は検査結果を受け取って公表するだけ。これまで13カ月に1回、運転を止め3カ月かけて検査をしてきた。新制度は事業者が検査期間を短縮でき、第三者による検査を受けず老朽原発の検査は事業者任せに。

原子力規制委員会は、40年を超える原発に対し、さらに20年の運転延長を次々と認めてきました。その上、2020年4月から原発の検査制度が抜本的に変わります。

老朽原発の危険性と、来年4月から電力会社に委ねられる「新検査制度の変更」とはどのようなものか、大阪府立大名名誉教授で若狭ネット資料室長の長沢啓行さんにお聞きしました。

## ◎HPづくりにご協力いただけるボランティアを募集しています

### 9月の主なスケジュール

◎9月16日(月) さよなら原発全国集会  
12時30分 開会 in 代々木公園  
15時10分 デモ出発

◎9月22日(日) たんぼ舎30周年の集い  
13時30分開会 ベルサール神保町3F  
小出裕章氏『原発にしがみつくと日本なぜ? どうする?』

◎11月23日(土) 高浜現地集会 正午  
高浜原発ゲート前から関電本店まで  
16日間のリレーデモ  
12月8日(日) 関電本店包囲集会

### ※連盟運営委員会

9月25日(水) 17時 たんぼ舎5階

### ※関西ブロック運営委員会

9月28日(土) 14時 クロスパル高槻



## 原発やめようニュース 反原発自治体議員・市民連盟

NO. 33 2019年9月

## 新規制基準に反する原発は即時停止に！ 鹿児島県議会・薩摩川内市議会への請願にご協力をお願いします

### 来年3月特重施設のない原発は停止に

原子力規制委員会（規制委）は、6月の定例会で、原発の「特定重大事故等対処施設（特重施設。政府は「テロ対策施設」と称す）」が期限までに完成しない場合、期限の1週間前までに原発の運転停止命令を電力会社に出すことを決めました。「特重施設」は、重大事故の際に原子炉の冷却を続けるための設備で福島第一原発事故を教訓に新規制基準で義務付けられたものです。当初は13年7月の新基準施行から一律5年で設置することとされましたが、施設工事が進まない事業者の意向を受け、“原発本体の工事計画認可から5年”と延長されてきました。

しかし来年オリンピックでテロ対策の強化を迫る政府の意向で、3月17日に期限を迎える川内原発1号機をはじめ、これ以上の延長が認められなくなっています。

### 九電は川内原発1・2号機を即時停止せ

巨大な地震や津波、火山の噴火などはいつ起こるか予想ができません。原発の事故は待ってもくれません。福島第一原発事故を繰り返さないためには、規制委が特重施設の設置期限をさらに延長したこと自体が誤りです。

規制委は、その責任を果たすために、特重施設のない原発の即時停止を直ちに命ずるべきです。来年真っ先に5年期限を迎える川内原発1号機は、今年7月から定期点検に入り11月に再稼働の予定です。九州電力は、特重施設の建設を

共同代表 佐藤英行(北海道岩内町議会議員)  
野口英一郎(鹿児島市議会議員)  
福士敬子(元東京都議会議員)  
武笠紀子(元千葉県松戸市議会議員)

〒168-0072  
東京都杉並区高井戸東3-36-14-301  
Tel/FAX 03-5936-0311  
http://nonukesjapan.org/  
郵便振替 00110-7-449067

昼夜の突貫工事で急いでいますが間に合いません。このまま稼働を停止し、安全をはかるべきです。

### 鹿児島県議会と薩摩川内市議会請願に賛同

これを機会に、現在稼働中の全ての原発を止めるために、まず特重施設が間に合わない川内原発の即時停止をめざします。

そこで反原発自治体議員・市民連盟は、鹿児島県議会と薩摩川内市議会に、11月の第4回定例会に向け、「特重のない原発の即時停止を求める請願」を出すことにしました。現在、地元でも来年の県知事選と市長選を控え、40年を超える川内原発の運転延長を許さない取組みが進められています。連携を強めていきます。

オリンピックを前に、福島の復興を描き上げ、原発の安全性を強調する政府と規制委への意見書、九州電力に対する要請書の提出を、全国の自治体議員の連名で実現します。ご協力をお願いいたします。



定期点検に入り11月に再々稼働予定、来年3月にまた停止を余儀なくされる川内原発



【上】全国シンポジウム会場は例年通りの満席に

【下】小出裕章氏。交流会でも質問に真摯に対応



飯館村の除染土置き場…まだまだあります



請戸地区・大平山から。左側白い建物は環境省の除染土を道路に利用するための実験施設



3・11生徒全員が助かった浪江町請戸小学校前。説明は木幡ますみ大熊町議

今年のシンポジウムは、参議院選挙真只中で開催されました。そのため、例年に比べ首都圏からの参加が半減する状況となりました。しかしながら当日は福島からの参加が多く130名の盛会に。企画への期待が感じられました。

小出裕章さんには事前に福島現地からの要望が伝えられ、これに応える内容となりました。厳しいお話もありましたが、現実を見据えた専門的立場からのお話に、被害自治体議員から高い評価が寄せられました。今回は関西から議員4名が参加し、また特定廃棄物処理場が問題となっている栃木県塩野町の町長が参加されました。小出さんのお話に多くの方がうなづいていました。

2日目の現地視察には、松本静男葛尾村議、渡邊計飯館村議、木幡ますみ大熊町議が案内役として同乗。70名が2台のバスに乗って、各議員の説明を受けながら浪江町、飯館村、南相馬市、富岡町を視察。その後国道6号線に入り、大熊町や檜葉町、広野町を通過し、いわき市へと向かいました。国道6号線では大熊町を過ぎたあたりから、放射線測定器の警戒音が鳴りだしました。「ここを来年オリンピックの聖火が通る？まさかでしょう…」との木幡さんの声が車中に響きました…。

小出さんの厳しいお話から学びました

- ☀ 5年前に浪江にきた。今回の現地見学で、浪江はどうか復興していると感じたが、大熊は相変わらずゴーストタウン。小出さんは、汚染地域に子どもが住まない方が良いと言っていたが、飯館では雨の中で子どもたちがサッカーをしていることにショックを受けた。
- ☀ 大変勉強になった。今回の小出さんの話はいつもと違って。福島なので違うのだと感じた。活動の源泉にする。
- ☀ 福島にやっと来られた。百分は一見に如かずで、中身が濃くて良かった。小出さんの話は辛口で、福島とどう向き合うか、後始末の大変さを感じた。
- ☀ 小出さんの話が良かった。子どもたちに放射能を浴びさせるな！食べさせるな！という言葉が心に残る。福島の野菜は私たちの世代が食べればよい。
- ☀ 小出さんの話。厳しい現実が示された。気づいたら行動へ移すこと。富岡・請戸の現地のがんばりを見た。私たちはどうするか、よびかけていく必要がある。線量の高いところへ行かされる子どもたちを、どう支援していくか？
- ☀ 非常事態宣言のままに避難解除が進んでいる。小出さんも言うように、1mSv/年が法令基準なのに、それを越えた地域に子どもを帰そうとしている。メディアはほとんど報道しない。事実を伝えたい。

オリンピックと偽りの「復興」

- ☀ 飯館村のグラウンドでの、こどもたちのサッカーに驚いた。町にいるのは作業員ばかりで、マスクもつけずに立っている。復興予算として、福島に投入されたお金がゼネコンに行く。原発の前をオリンピック聖火ランナーが通るといふ話に悩む。
- ☀ 放射能汚染地帯では、限界自治体や限界集落となるのではと感じた。人々の心が離れるのではないかと。特に五輪の後が問題だと思う。
- ☀ 復興とは何かを考えさせられた。農業は復興していないし、線量の高い処で子どもたちのサッカーは切ない。フレコンパックの隣のソーラーパネルも。
- ☀ 2回目の参加。現地の状況変化を感じた。ゼネコンのための復興事業だ。人々がまだ帰れない状況。放射能汚染が恐ろしい。関西には11基の原発があ

る。40年越えての運転を止めて、原発ゼロをめざして活動する。来年も企画してほしい。

- ☀ 初めての参加。たいへん良かった。復興と言いながら、かけるべきところにお金をかけない。億単位のお金が無駄に使われている。子どもが通わない学校など無駄ばかり。補償は打ち切られて、被害者にお金が回ってない。これらのことを多くの人に伝えたい。子どもたちはよくユーチューブを見るので、それも良いかも。これまでと違ったアプローチが必要。ひとり一人でできることと、人がつながってできることを。

3.11から8年、福島の変わりよう

- ☀ 以前に来たとき、浪江と富岡の惨状を見た。今回は一見してきれいになったが、被害のステルス化があるらしい。これからもしっかり見ていく必要がある。地元議員の報告から、人を大切にしない政策に怒りを感じたが、これを原動力に活動していく。
- ☀ いろいろな人と話ができた。原発反対の自治体(浪江)が放射能の被害を受けた話。子どもが三人いる。知ると怖いが、向き合わなくてと思う。
- ☀ (80歳代の方) テレビで爆発を見ていた。ドキドキしながら。その後、現場からの情報が報道されない。映像を映す側の間人なので、集会やデモを撮った。被災地に行くパワーはなかった。3年目に写真撮りにいった。請戸小のところは残骸だらけ。それらの写真で賞もいただいた。今回はバスならと思いついて参加した。見納めかもしれないが参加して良かった。

今回学んだ福島の真実を伝えたい

- ☀ 動画を配信したら、いろいろなコメントきている。現場をみる大切さを感じた。福島の現実を、自分ごとにしていかなくてはと思う。
- ☀ 4回目、福島の移り変わりをみてきた。ツアー視察で得たものを、多くの人に伝えていくことが課題である。来年もきたい。
- ☀ シンポと現地見学のバランスがいい。地元の議員の話もとても良かった。東京の10倍も100倍もの放射能がある。福島はそれでいいのか？
- ☀ 汚染土の問題がたいへん。若い人の力になりたい。放射能の基準もひどい、世界に通じない数値。来年もきたい。

規制委に特定重大事故等対処施設のない原発の即時停止を求め要請書提



8月21日、再稼働阻止ネットの呼びかけで、原子力規制委員会と九州電力東京支社に対し、「特定重大事故等対処施設のない原発の即時停止を求める」要請行動が行われました。議員・市民連盟から「もともと危険な老朽原発に、新規基準で示した特重施設がないことは危険極まりなく、即時停止が規制委や電力会社の責任の取り方だ」と強く求めました。